

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道9号 鳥取西道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：鳥取県鳥取市本高 至：鳥取県鳥取市松原	延長	7.0 km		
事業概要	<p>一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約645kmの主要な幹線道路である他、周辺地域の社会基盤を担う重要な路線である。</p> <p>鳥取西道路は、一般国道9号の交通隘路区間の解消及び交通安全の確保を目的として計画された鳥取県鳥取市本高から鳥取県鳥取市松原に至る延長7.0kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道9号は、鳥取県の東西方向を連絡する唯一の主要幹線道路であるが、朝夕をはじめ観光シーズンに深刻な交通渋滞が発生している。また、平面線形、縦断線形が悪いことから、事故や冬期の積雪・凍結時には、交通機能の著しい低下や一般国道9号に代わる代替路線がないことから、これらを解消・連携する道路の整備が急がれる。</p> <p>このような状況を背景に鳥取西道路は、他の幹線道路と一体となって広域交通を分担し、交通混雑・障害の解消や代替路線の確保による交通機能の向上・防災危機管理の充実・救急医療水準の向上を行うものである。</p> <p>また、鳥取県東部地域の産業振興や観光開発に資するとともに、生活圏域の拡大など地域の活性化を図るものである。</p>				
全体事業費	210億円	計画交通量	11,000台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
鳥取市長など14市町村の首長で構成される国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会など複数の団体から要望を受けている。

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている
手続きの完了（予定）：都市計画決定予定（平成17年5月県都計審予定）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用 185億円 （事業費：159億円 維持管理費：26億円）	総便益 325億円 （走行時間短縮便益：260億円 走行費用減少便益：39億円 交通事故減少便益：26億円）	基準年 平成16年		
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.4 (交通量 -10%)	B/C= 2.1 (交通量 +10%)			
		事業費変動	B/C= 1.9 (事業費 -10%)	B/C= 1.6 (事業費 +10%)			
	事業期間変動	B/C= 1.8 (事業期間 -20%)	B/C= 1.7 (事業期間 +20%)				
事業の影響	評価項目	評価	根拠				
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	渋滞を解消する（伏野交差点：現況旅行速度 19.6 km/h） 【渋滞損失時間の改善】約 23.8 万人時/年 ⇒ 約 19.7 万人時/年 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】約7.0万人時/年km、約0.54分/台km（H15値） 【鳥取県平均：約 0.72 万人時/年km（約9.7倍） 【全国平均：約 2.03 万人時/年km（約3.4倍） 【渋滞度曲線】鳥取県内センサス区間の上位2割に含まれる 【その他の特徴】鳥取県内国道9号中第4位の渋滞損失時間			
		事故対策	-	注目すべき影響はない。			
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。			
	社会全体への影響	住民生活	○	鹿野・気高方面から鳥取市街地への通勤円滑化が図られる。（鳥取市鹿野町～鳥取駅（36分→30分））			
		地域経済	○	港湾の利便性向上、農林水産品（梨、スイカ等）の流通の利便性向上が図られる。（鳥取市鹿野町～重要港湾鳥取港（35分→29分））			
		災害	○	一般国道9号に代わる代替路線が形成される。			
環境		○	大型車の転換により現道の騒音・振動・大気汚染物質の低減化が図られる。				
	地域社会	○	広域合併（鳥取市、青谷町、気高町、鹿野町、河原町、佐治村、用瀬町、国府町、福部村）に伴う鳥取市街地へのアクセス支援となる。				
事業実施環境	○	鳥取県の鳥取県東部地方拠点都市地域アクションプログラム（H7）に位置づけられている事業である。					

採択の理由

費用便益比が1.7と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定が予定（平成17年5月県都計審）されていることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通渋滞の緩和、及び物流の効率化が図られる等、事業の効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。